



# 運動推進 NEWS

まちづくり60年 そして未来へ

令和6年12月号 第229号

(令和6年12月25日)

公益社団法人 東京のあすを創る協会

中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル6階

Tel 03-3272-0213 Fax 03-3272-1257

Eメール [tou-asu@netjoy.ne.jp](mailto:tou-asu@netjoy.ne.jp)

## ◆2024都民フォーラム開催「地球温暖化と異常気象のメカニズム」

令和6年11月28日(水)に、公益社団法人東京のあすを創る協会主催の「2024都民フォーラム」を東京都消費生活総合センターで開催しました。このフォーラムでは、例年、「地球にやさしい環境づくり」をテーマにした講演と、活動団体による「活動報告」を行っています。最初に、主催者を代表して東創協の鈴木事務局長から挨拶があり、その後、一般社団法人日本気象予報士会神奈川支部副支部長の新海康雄(しんかいやすお)さんから「地球温暖化と異常気象のメカニズム」と題して講演を行っていただきました(参加者45名)。



具体的には、「1 異常気象について」、「2 地球温暖化は、なぜ起きている?」、「3 地球温暖化が進むと」、「4 世界はどう動いている」、「5 適応策と緩和策」の5点について講演をいただきました。

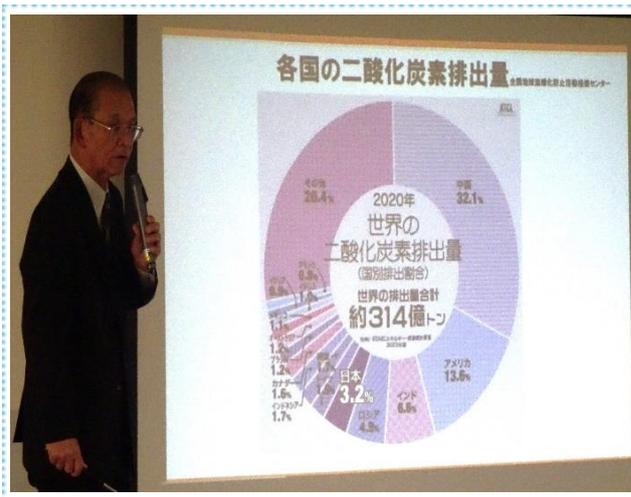
最初に、空気の成分や天気の基本知識についてお話しされ、そして、「異常気象」を理解するための注意点として、時間・空間スケールの気象現象に注目する必要性についてのお話しがありました。

その後、異常気象が起こるメカニズムについて、海洋、大陸、宇宙の影響等があることを分かり易く説明いただき、具体的に、エルニーニョ現象とラニーニャ現象の特徴や、平成30年の西日本豪雨が起こった事象についてお聞きしました。

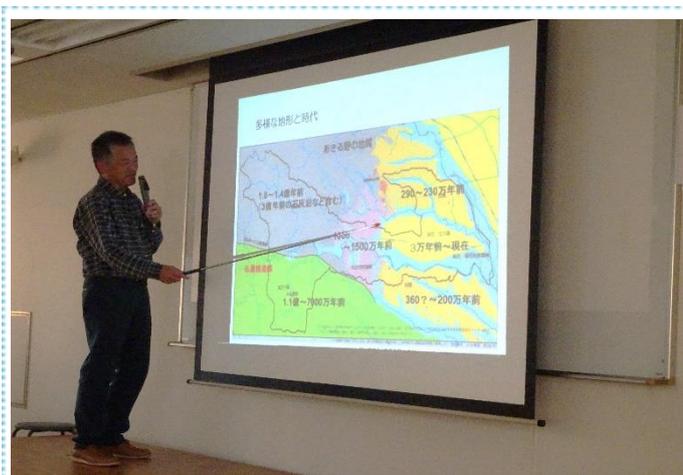
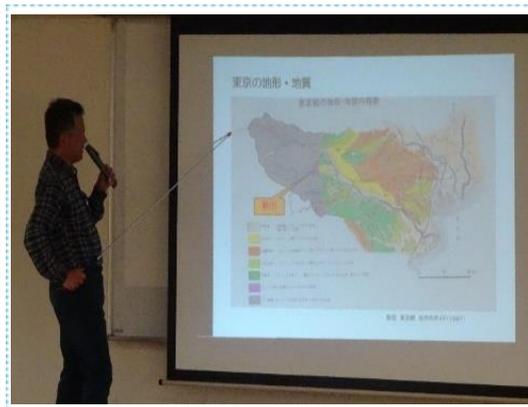
次に、温暖化については、「世界の気温上昇」と「日本の気温上昇」の特徴をお話しされ、特に興味深かったことは、日本の気温上昇が過去100年あたりで1.35度上昇しているのに対し、東京は、3.4度も上昇している現状をお話しいただき、近年の東京の異常な暑さをデータで認識することができました。

さらに、国際的な気象に関する研究や会議体である「IPCC」と「COP」の概要と役割の説明後、気候変動や地球温暖化についての具体的な会議内容をお聞きし、世界各国の利害関係もあり、温室効果ガスの削減もそう簡単にはいかないのが現状だと理解できました。新海さんのデータに基づく分かり易く、かつ、熱のこもった講演をお聞きすることができました。新海さん、講演ありがとうございました。





続いて、「活動報告」として、「秋川流域ジオの会」代表の青谷知己(あおたにともき)さんから活動報告を行っていただきました。はじめに、地形や地質の基礎知識として、東京都を西から東へ、「山地」、「丘陵」、「台地」、「下町」、「東京湾」と分け説明していただき、その後、多摩地域の地形の特徴について、様々な年代地層が分布しているとの説明がありました。その中で、「四万十帯」という層群があることについて初めてお聞きする方も多かったのではと思います。また、多摩川、秋川の石はどこから来たかの話があり、石の種類となぜ多摩川、秋川に集まったのかについての具多的な説明もあり、大変興味深く聞かせていただきました。



最後に、「秋川流域ジオの会」の事務局や全体会の運営実績、機関紙の発行、ジオツアー、出前授業、普及講演会等の活動実績について説明がありました。また、会の中には、化石研究会、五日市町層群研究会、上総層群研究会、輪読研究会等があり、会員も64名おり、活発に活動を行っている様子が伺えました。今回は、地球規模の気象の話と数億年前からの地層の話等で、大変充実した講演だったと思います。青谷さん、参加された皆様、ありがとうございました。